

さわかせ

sanwa chiku-shakyo

編集：三和地区社協事業部（研修・広報）  
発行責任者：三和地区社会福祉協議会  
会長 泉水 房治  
事務局：三和保健福祉センター内（サンハート内）  
電話：0436-37-7100

平成29年度 三和地区社会福祉協議会理事会（総会）開催

活動報告

五月二十七日（土）、三和保健福祉センターにおいて開催され、提出された「規約の改正案」・「人事案」・「平成二十八年度事業報告・収支決算」・「平成二十九年度事業計画・収支予算計画」及び「賛助会員募集に係る活動計画」等について審議が行われ全て承認されました。

【研修会】（三回実施）

- 元警視總監 井上 幸彦氏 による講話
- 大災害発生時における「ボランティア受け入れ」
- 避難所指揮運営訓練として「HUG」体験

【広報紙 さわかせ】（七、八号発行）

【サロン事業】

- 会食会（二十四回実施、光風台自治会館）
- 茶話会（四地区合計十一回実施）
- 子育てサロン（十回実施 サンハート）

【敬老会】（期間九月～十一月）

- 参加者（九百五名）
- 参加率（三十七・九％）

【福祉バザー】

- 売上げ（二十五万七千三百二十円）
- 寄付（四万七千四百八十七円）

【自主事業】

- 三コミ祭り（模擬店、焼きサンマ等）
- サンハート祭り協力（模擬店）

【たすけあい三和】

- 依頼内容（草刈り、庭木剪定等）
- 依頼件数（百三十三件）
- 支援延べ人数（二百八十二名）

平成28年度 三和地区社会福祉協議会収支報告書「支出の部」

| 項目   | 区分            | 金額(円)     | 備考                |
|------|---------------|-----------|-------------------|
| 会議費  | 会議費           | 24,065    | 理事会・総務会・部会等       |
| 交際費  | 交際費           | 14,500    | 各種団体祝金・慶弔金        |
| 事務費  | 事務費           | 145,230   | 携帯電話代・事務用品代等      |
| 事業費  |               | 3,665,832 |                   |
|      | サロン事業費        | 673,022   | 会食会事業571,000円     |
|      | 内 運営費         | 70,000    |                   |
|      | 市社協補助金        | 300,000   | 500円×600名分        |
|      | 利用者自己負担金      | 180,000   | 300円×600名分        |
|      | 協力者自己負担金      | 21,000    | 300円×70名分         |
|      | 子育てサロン事業      | 50,000    |                   |
|      | 茶話会事業         | 52,022    |                   |
|      | 広報事業費         | 111,570   | 広報印刷代             |
|      | 活動費           | 407,697   |                   |
|      | 内 バザー事業       | 57,697    |                   |
|      | たすけあい事業       | 150,000   | 市社協特別交付金          |
|      |               | 200,000   | 地区社協補助金           |
|      | 敬老会事業費        | 2,406,800 | 敬老会補助金等           |
|      | 相談事業費         | 33,743    | 相談支援事業            |
|      | 人材育成事業費       | 0         | 未実施               |
|      | 地域福祉まちづくり事業費  | 0         | 未実施               |
|      | 災害支援ボランティア事業費 | 33,000    | 避難所運営ゲーム研修費等      |
| 研修費  | 研修費           | 129,320   | 各種団体等との懇親会        |
| 拠点経費 | 拠点経費          | 154,819   |                   |
|      | 内 整備費         | 117,469   | 棚設置経費             |
|      | 内 維持費         | 37,350    |                   |
| 助成金  | 助成金           | 300,000   | 地区社協推進事業費140,000円 |
|      | 民生児童委員協議会     | 40,000    |                   |
|      | 三和コスモスクラブ連合会  | 20,000    |                   |
|      | 子育て支援員協議会     | 20,000    |                   |
|      | 更生保護女性会       | 20,000    |                   |
|      | 身体障がい者福祉会     | 10,000    |                   |
|      | 食生活改善推進員      | 10,000    |                   |
|      | 保健推進員         | 10,000    |                   |
|      | 青少年相談員        | 10,000    |                   |
|      | 小域福祉ネットワーク    | 160,000   | 4小学校区             |
|      | 予備費           | 0         |                   |
| 合計   |               | 4,433,766 |                   |

ご挨拶

三和地区社会福祉協議会 会長 泉水 房治

この度、理事会において承認をいただき、会長を務めさせていただくことになりました。誠に光栄に存じますが、その責務の重大さに身の引き締まる思いでございます。

三和地区社会福祉協議会は、平成二十五年に発足し五年目に入りました。

市原市も人口減少・少子高齢化を踏まえ、新たな時代に向けて「市原市 地域福祉パートナーシッププラン」が策定されました。

三和地区で誰もがその人らしく、安心した生活を送ることが出来るようにと、可能なところから地域福祉計画に盛り込み、住んでいてよかったと言われるような地域にしていきたいと思っております。

微力ではございますが不退転の決意をもって、職務を全うする所存でございます。皆様のご協力・ご指導を切にお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

三和地区社会福祉協議会 前会長 鈴木 利一

私は、社会福祉協議会の規約に基づき、今般、会長を退任することといたしました。市原市社会福祉協議会三和支部以来十数年にわたって、各種福祉活動の役員、委員の皆様そして各種団体様、住民の皆様には永い間、本当にお世話になりました。心から厚く御礼申し上げます。

三和地区社会福祉協議会となり、早くも四年を経過しました。地域の皆様の福祉という観点から考えますと、まだまだという事になります。

後任には泉水会長、安藤副会長さん等、私を支えて頂いた方々がたくさんいらっしゃいますので、三和地区の皆様には今後とも、温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。退任の挨拶にかえさせていただきます。

ご支援ありがとうございました。

平成28年度 三和地区社会福祉協議会収支報告書「収入の部」

| 項目  | 区分             | 金額(円)     | 備考         |
|-----|----------------|-----------|------------|
| 交付金 | 運営補助金          | 728,100   |            |
|     | 内 一般会費         | 468,100   | 会費の50%     |
|     | 共同募金配分金        | 260,000   | 配分金の25%÷11 |
|     | 運営費補助金(加算分)    | 322,000   |            |
|     | 内 会食会          | 300,000   |            |
|     | 茶話会            | 22,000    |            |
|     | 特別交付金          | 210,000   |            |
|     | 内 たすけあい三和事業    | 150,000   |            |
|     | 相談支援事業         | 30,000    |            |
|     | 災害支援ボランティア事業   | 30,000    |            |
|     | 敬老会補助金         | 2,321,657 |            |
|     | 福祉バザー補助金       | 29,000    |            |
|     | 拠点経費           | 151,707   |            |
|     | 内 拠点整備経費(初期費用) | 117,469   |            |
|     | 内 拠点維持管理費      | 34,238    |            |
| 会費  | 賛助会費           | 429,000   |            |
| 繰越金 | 繰越金            | 1,060,798 | 平成28年度繰越金  |
| 雑収入 | 雑収入            | 334,309   |            |
|     | 内 懇親会自己負担金     | 69,000    |            |
|     | 会食会自己負担金       | 180,000   | 利用者自己負担分   |
|     | 会食会自己負担金       | 21,000    | 協力者自己負担分   |
|     | 茶話会自己負担金       | 22,000    |            |
|     | 模擬店利益金         | 42,302    |            |
|     | 預金金利           | 7         |            |
| 合計  |                | 5,586,571 |            |



### \*緑のカーテン事業に伴う サンハートのゴーヤ苗定植作業

市原市の「緑のカーテン事業」に協力のため、サンハートにおいてゴーヤ苗の定植作業を行いました。

5月7日(日)に事前準備として畝の掘り起こしや堆肥入れ等、植え場所の整備を行い、5月14日(日)に本番の定植作業となりました。

この日は市西小で校庭の除草作業もあり、小域福祉ネットワークの参加者の皆様には続けてのハードな活動となりました。それでも参加者の皆様のご尽力により午前中に終了することが出来ました。

ゴーヤが生い茂り立派な緑のカーテンとなってサンハートの来場者に喜んでもらえれば、小域福祉ネットワーク一、この上ない喜びとするところであります。



市西小学校区

養老小学校区小域福祉ネットワークは今年度から、愛称「あつたかネット養老」として活動します。

### 1. 部会制の導入

高齢者支援等の高齢者部会、見守り活動等の一般部会を導入し、きめ細かな活動を推進します。

### 2. 小学校校庭除草作業

小学校PTA活動への協力として、5月13日(土)に校庭の除草作業を行い、62人のご協力を頂きました。

事前の作業もしていたため効率よく作業が出来、無事終了しました。



### 3. 茶話会の定着

平成28年度は山田、磯ヶ谷で実施。平成29年度は松崎、大桶、新巻でおこない、今後も定着するように活動していきます。

役員・推進委員・事業協力員とともに協力して、安心して暮らせる地域づくりを目指します。



\*皆様の御協力をお願いいたします。

養老小学校区

## 小域福祉ネットワーク 活動報告

海上小学校区

発足当初は地域住民とのふれあいを主眼に、「子供達への声かけ」「地域でのあいさつ運動」を中心に活動してきました。今は、当地区では「登校時の見守り活動」と「小学校の環境美化作業活動」を柱に定期的に実施しています。

今後は活動の場を広げるべく、学校との連携を密にし、行事等への参加を模索して行きたいです。また、茶話会の充実や防災対策にも力を注いで行きたいと思ひます。



### \*環境美化作業

毎年2月、5月、8月の3回PTA、ボランティアグループ等と共同で実施しています。

今年に入ってから2月に小枝切り、落ち葉拾いを行い、5月は春季運動会前のグラウンド及び周辺の草刈りを実施しました。

運動会当日は、晴天に恵まれ、きれいな校庭で、子供達が頑張っている姿を見てうれしさもひとしおでした。



光風台小学校区

新年度に入り、4月9日(日)の当ネットワーク全体会議において本年度の活動計画が承認され、活動がスタートしました。

### 1. ふれあいサロン

参加に制限を設けず健康寿命を延ばすため、お茶を飲みながらお喋り、情報交換、各種体操等、気軽に参加できる憩いの場です。毎回30人程度の方が参加され楽しく過ごしています。



〈いいあんばい体操〉

〈脳トレ〉

### 2. 安心見守り支援

見守り対象者の方々については制限を設けず、所定の研修を受けた「安心訪問員」が月に数回訪問して声かけを行っています。現在①見守り申込者数：12名 ②安心訪問員数：19名

#### 見守り対象者の方々の代表的な声

- ・訪問員の声を聞くと不安感が解消する(80代女性)
- ・夕暮れ時になると、一人暮らしが不安になるが、声をきくと安心し心癒されます(70代女性)
- ・自分を見守っている人がいる、地域の中では一人ではない…気持ちが落ち着き安心する(70代女性)
- ・話をすると「ほっと」する(80代男性)
- ・一人暮らしだが地域の中では孤立していない、見守られている実感があり「もしもの時の不安」が解消した(80代女性)